

氏名	鈴木玲子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	人間工学 看護技術教育 看護教育				
学位	修士（リハビリテーション）				
学歴	1999年筑波大学大学院教育研究科（カウンセリング専攻）修了、2015日本大学大学院理工学研究科（医療・福祉工学専攻）満期退学				
経歴	1992年東京女子医科大学看護短期大学助手、1998年東京女子医科大学看護学部助手、2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2009年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科（前期課程）准教授、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部および保健医療福祉学研究科教授、2013年埼玉県立大学地域産学連携センター副所長、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科（後期課程）教授、2016年埼玉県立大学学長補佐、2017年埼玉県立大学副学長・研究開発センター長(2021年3月まで)				
所属学会（役職）	日本看護研究学会（査読委員）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事・編集委員長)、日本人間工学学会、日本ヒューマン・ケア心理学会、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本看護技術学会、日本看護学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)）		ポジティブ・ヘルスに資する若年者向けヘルスリテラシー育成プログラムの開発	研究代表者		2022.4～2026.3
2	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)）		中堅看護師の教育力深化を目指したアクティブラーニング型研修の開発と評価	研究代表者		2018.4～2024.3
3	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)）		小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究分担者		2019.4～2025.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学Ⅰ（総論）	○	8	国内外の成人保健の動向を意識して授業を展開し、理事長の特別講演では医療経済の話題提供も取り入れた。講義はIctを活用したアクティブラーニングで実施した。		
2	スタートアップセミナー		15	初回授業ではエビデンスに基づく感染対策を含めた講義を企画・実施し、講義およびPBLでのグループ学習による演習を実施した。		
3	看護研究		4	単元「実験研究」と「研究倫理」の講義を担当した。		

4	基礎看護技術・看護工学（院・前期）	○	15	受講者なく開講せず
5	フィジカルアセスメント		5	CNS科目履修者を対象とした授業の企画・教員間の調整・演習プログラムの設定などを実施した。身臨床推論シミュレーション演習では模擬患

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅱ（方法論）	○	8	ゴードンの機能的健康パターンを用い看護診断を事例学習を通して教授し、また脳神経系に焦点を当てたフィジカルアセスメントの演習を実施した。
2	成人看護学Ⅲ（周術期）	○	7	周術期看護の事例学習での指導、および講義は「日帰り手術」「生殖機能障害に対す周術期看護」の講義を実施した。
3	成人看護学Ⅳ（クリティカル）		4	広範囲熱傷、胸部外傷、重度喘息患者に対する看護の講義を実施した。授業方法はアクティブ・ラーニングを取り入れた。
4	成人看護学Ⅴ（慢性看護）		4	事例を用いた看護診断学習を小人数でのグループ学習でファシリテータとして学生を指導した。
5	基礎看護技術・看護工学演習（院・前期）	○	15	受講者なく開講せず。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2023.5～2023.6	学内外で展開する実習において、臨地実習施設との調整、実習中の教員の動静にあわせてバックアップ要員を務めた。
2	成人看護学実習Ⅱ		2023.5～2023.6	科目責任者と臨床実習先の調整を図り、実習環境を整えながら、臨地での実習指導を行った。また実習非常勤には、OJTでの教育指導や助言をするなど教育運営のマネージメントに務めた。
3	総合実習		2023.7	科目責任者と臨床実習先の調整を図り、実習場の確保に努めた。実習中の教員の動静にあわせてバックアップ要員を務めた。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2023.4～2023.12	主指導（指導教員）	4名	副指導（指導補助教員） 名
2	修士論文	2023.4～2023.8	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員） 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	研修会のインストラクター	自治医科大学附属 さいたま医療センター	「エデュケーションナース研修」	2023.10～2023.11
2	研修会の講師	公益法人埼玉県看護協会	「看護研究の基礎」	2023.5
3	研修会の講師	公益法人埼玉県看護協会	「看護研究の進め方」	2023.6
4	研修会の講師	公益法人埼玉県看護協会	「看護研究の実践」	2023.6～2024.3
5	オープンカレッジ 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	「看護師の教育力を高めるためのセミナー」	2023.10～2024.1

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県ナースセンター事業運営委員会	委員	2019.2～現在
2	一般社団法人 日本看護研究学会	査読委員	2021.4～現在
3	日本看護系大学協議会(JANPU)災害支援	災害支援教員	2023.4～現在

4	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事・編集委員長	2021.4～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会・入試実施部会長	2023.4～2024.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会業務：高等学校訪問（2校）	2023.4～2024.3
3	学生支援	3年次学生の担任長として担任教員への助言や相談などマネージメントを実施した。担任学生に対しては、就職支援と国家試験対策の各事業の計画・実践を行った。	2023.4～2024.3
4	大学広報活動	高等学校出張講座（1回）	2023.6
5	看護学科災害支援	越谷市より要請された「妊産婦福祉避難所」開設時の教員の役割の明確化および運営上の課題を整理した。	2024.1～
6	スタッフルーム環境改善チーム	スタッフルームに対する環境状況の調査・分析後、各室内のレイアウト変更の調整、備品調整および予算交渉などを実施した。	2024.1～2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		